

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流域下水道維持管理費負担事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課					
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	池田 輝昭					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	江戸川左岸流域下水道及び手賀沼流域下水道の利用者	意図	江戸川左岸及び手賀沼流域下水道施設の適切な維持管理費を負担する。
事業内容	汚水を処理するための江戸川左岸及び手賀沼流域下水道終末処理場の維持管理費を負担する。			
事業開始から現在までの状況変化	流域下水道の汚水処理開始（江戸川左岸：昭和61年度、手賀沼：平成4年度）に合わせ、本市から排出される汚水量に見合う処理経費等を、維持管理負担金として支出している。供用開始区域の拡大とともに、維持管理負担金も毎年増額となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	有収率	80.25	81.12	82.01	%	↑↑↑	年間汚水量／年間汚水処理量
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 公共下水道の使用世帯の増加に伴う汚水の総処理量の増加により、維持管理負担金が年々増えている。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		900,079,588	919,414,603	948,757,616				
事業費(b)(円)		897,971,188	917,492,403	945,938,576				
うち一般財源		897,971,188	917,492,403	945,938,576				
職員給与費(c)(円)		2,108,400	1,922,200	2,819,040				
人役・職員(人)		0.28	0.28	0.42				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	各家庭の誤接続が不明水の原因となり、維持管理負担金を増加させている。完了検査の強化を行う。	③取組の課題	誤接続家屋への改善指導に対する実現性を向上させる。誤接続調査の未協力者への対応
②今年度(H29)に実施した取組	有収率向上のため、流域関連市と共同して、江戸川左岸流域下水道における不明水対策マニュアル（排水設備調査）を作成した。	④今後(H30以降)の改善計画	江戸川左岸流域下水道における不明水対策マニュアル（排水設備調査）に基づき、宅地内の誤接続調査を行い、対象家屋に改善指導を行う。